



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月27日

上場会社名 株式会社 ニフコ 上場取引所 東
 コード番号 7988 URL <https://www.nifco.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 利行
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 最高財務責任者 (氏名) 本多 純二 TEL 03-5476-4853
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	131,413	1.5	15,185	△5.9	15,302	7.3	10,690	11.7
29年3月期第2四半期	129,447	△0.2	16,131	13.7	14,266	3.0	9,567	6.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 11,017百万円 (-%) 29年3月期第2四半期 △5,394百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	210.10	195.96
29年3月期第2四半期	188.67	175.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	280,938	140,382	49.0	2,705.67
29年3月期	291,120	133,532	44.9	2,567.44

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 137,671百万円 29年3月期 130,637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	50.00	—	70.00	120.00
30年3月期	—	60.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	262,000	1.0	30,500	2.3	29,000	2.0	20,800	2.1	408.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	53,754,477株	29年3月期	53,754,477株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	2,871,981株	29年3月期	2,872,003株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	50,882,463株	29年3月期2Q	50,711,917株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、自動車買替えなど民間耐久消費財需要の増勢に加えて、堅調な住宅投資が寄与して、全体的には緩やかな成長が続きました。海外においては、新興国経済の勢いの鈍化はあったものの、中国では景気刺激策による不動産市場の活況など内需の拡大が継続、マイナス金利政策による消費支出と不動産市場拡大を背景に「インダストリー4.0」を掲げて成長を続ける欧州経済、雇用拡大と賃金上昇や公共投資の拡大期待等により好調を持続する米国経済等、地政学リスクや新興国の資金決済リスクを抱えつつも、世界経済全体としては緩やかな成長軌道にありました。

当社グループの主要顧客であります国内自動車メーカーにおきましては、日本市場では、対前年同期比で生産販売台数の増加が見られました。一方、海外におきましても、北米やアジア市場の一部で伸び悩みが見られたものの、中国や欧州市場は堅調に推移しました。他方、海外自動車メーカーにおきましては、韓国勢OEMはSUVへの出遅れや中国市場でのTHAADの影響で低調でしたが、他OEMは乗用車の低迷をSUVの増勢でカバーする形で、概ね堅調に推移しました。

このような状況のなか、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、国内での1台あたり搭載金額の増加が寄与、海外では欧州地域での伸びもあり、前年同期比1.5%増の1,314億1千3百万円となりました。

一方、利益面では、改善活動の推進による材料費等変動費率の低減により限界利益率は改善したものの、原価及び販売費及び一般管理費に含まれる人件費が、米国における新工場及び新製品立ち上げ等により増加したため、営業利益は前年同期比5.9%減の151億8千5百万円となりました。経常利益は為替差損の影響が前年同期に比べて軽微であったため、前年同期比7.3%増の153億2百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益においても前年同期比11.7%増の106億9千万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①合成樹脂成形品事業

合成樹脂成形品事業は、国内においては自動車生産台数の増加に加えて、新型車への当社製品1台あたり搭載金額が伸びたことにより、売上及び粗利益の拡大に貢献しました。一方、海外においては、欧州地域は順調に売上が伸張したものの、韓国系OEM向け売上が特に中国地域で低迷、北米地域でも伸び悩みが見られました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の合成樹脂成形品事業の売上高は前年同期比2.1%増の1,195億5千4百万円となりました。セグメント利益につきましては、米国における新工場及び新製品立ち上げ等による人件費増加のため、前年同期比6.7%減の161億9千9百万円となりました。

②ベッド及び家具事業

ベッド及び家具事業は、国内においては、「シモンズベッド」としての高級ブランド戦略を推し進め、競争が激化する中で、前年同期以上の売上を計上することができました。一方、アジアにおいては、特に中国でのホテル向け受注増大が寄与し、全体として好調に推移しました。この結果、当第2四半期連結累計期間のベッド及び家具事業の売上高は前年同期比7.3%増の117億9千3百万円となりました。セグメント利益につきましては、売上増や原価率の改善等により前年同期比12.9%増の17億4千万円となりました。

③その他の事業

その他の事業は売掛債権買取と各種サービス業務の受託であります。当第2四半期連結累計期間のその他の事業の売上高は、前年同期比95.1%減の6千5百万円となりました。これは主に、新聞及び出版事業を行っていた株式会社ジャパントイムズの株式を全て売却したことによる減少です。セグメント利益につきましては前年同期比の25.4%減の2千5百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ101億8千1百万円減少して、2,809億3千8百万円となりました。減少要因としては、法人税や配当金の支払い及び借入金返済等により現金及び預金が54億6千2百万円減少したことに加え、ROIC経営の推進もあり受取手形及び売掛金が54億2千万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ170億3千1百万円減少して、1,405億5千6百万円となりました。支払手形及び買掛金が64億2千9百万円、未払法人税等が24億7千1百万円、短期及び長期借入金が49億8千2百万円減少したことによるものであります。

純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ68億4千9百万円増加し、1,403億8千2百万円となりました。主として利益剰余金が70億2千4百万円増加したことなどによるものであります。

以上により当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ4.1ポイント増加し、49.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、112億6千5百万円の資金の増加となり、前年同四半期連結累計期間が202億7千万円の資金の増加であったことに比べて、90億5百万円の減少となりました。これは税金等調整前四半期純利益は増加したものの、仕入債務の減少等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、71億8千3百万円の資金の減少となり、前年同四半期連結累計期間が95億6千3百万円の資金の増加であったことに比べて、167億4千6百万円の減少となりました。これは主に前年同四半期連結累計期間に定期預金の払戻による収入等の資金の増加があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、99億3千7百万円の資金の減少となり、前年同四半期連結累計期間が70億2千3百万円の資金の減少であったことに比べて、29億1千3百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出等の資金の減少があったことによるものであります。

これらの増減に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額を合せると、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて57億1千万円減少し、742億2千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,816	75,353
受取手形及び売掛金	49,389	43,968
電子記録債権	6,099	6,897
有価証券	1,640	1,382
商品及び製品	21,397	22,085
仕掛品	2,250	2,310
原材料及び貯蔵品	6,035	6,232
繰延税金資産	1,399	1,747
その他	8,577	7,461
貸倒引当金	△219	△194
流動資産合計	177,385	167,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	38,774	38,144
機械装置及び運搬具(純額)	19,383	19,642
工具、器具及び備品(純額)	4,679	4,699
金型(純額)	4,775	4,838
土地	20,447	20,055
リース資産(純額)	1,357	1,296
建設仮勘定	6,209	8,275
有形固定資産合計	95,627	96,951
無形固定資産		
のれん	2,760	2,541
その他	3,513	2,855
無形固定資産合計	6,274	5,396
投資その他の資産		
投資有価証券	7,013	6,947
繰延税金資産	1,586	1,518
その他	3,319	2,966
貸倒引当金	△86	△86
投資その他の資産合計	11,832	11,345
固定資産合計	113,734	113,694
資産合計	291,120	280,938

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,573	18,143
1年内償還予定の社債	11,753	11,687
短期借入金	8,013	7,822
1年内返済予定の長期借入金	9,679	27,867
未払金	6,239	5,554
未払法人税等	6,019	3,547
繰延税金負債	49	17
賞与引当金	1,699	1,595
その他	13,098	11,831
流動負債合計	81,127	88,067
固定負債		
社債	13,982	12,953
転換社債型新株予約権付社債	20,061	20,051
長期借入金	31,812	8,833
繰延税金負債	4,765	5,103
退職給付に係る負債	3,753	3,673
その他	2,084	1,874
固定負債合計	76,460	52,489
負債合計	157,587	140,556
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,290	7,290
資本剰余金	12,890	12,890
利益剰余金	122,722	129,746
自己株式	△11,912	△11,912
株主資本合計	130,990	138,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,415	1,634
繰延ヘッジ損益	136	45
土地再評価差額金	△93	6
為替換算調整勘定	△572	△840
退職給付に係る調整累計額	△1,238	△1,188
その他の包括利益累計額合計	△353	△343
非支配株主持分	2,895	2,710
純資産合計	133,532	140,382
負債純資産合計	291,120	280,938

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	129,447	131,413
売上原価	90,306	92,778
売上総利益	39,140	38,635
販売費及び一般管理費	23,009	23,449
営業利益	16,131	15,185
営業外収益		
受取利息	117	131
為替差益	—	78
補助金収入	91	282
その他	587	426
営業外収益合計	797	918
営業外費用		
支払利息	410	351
為替差損	2,016	—
デリバティブ評価損	86	323
その他	148	126
営業外費用合計	2,662	801
経常利益	14,266	15,302
特別利益		
固定資産売却益	69	500
その他	4	—
特別利益合計	74	500
特別損失		
固定資産処分損	9	23
子会社株式売却損	—	※1 60
その他	2	—
特別損失合計	11	84
税金等調整前四半期純利益	14,328	15,718
法人税等	4,322	4,664
四半期純利益	10,005	11,054
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,567	10,690
非支配株主に帰属する四半期純利益	438	364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	93	218
繰延ヘッジ損益	△35	△91
為替換算調整勘定	△15,596	△187
退職給付に係る調整額	138	22
その他の包括利益合計	△15,400	△36
四半期包括利益	△5,394	11,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,478	10,600
非支配株主に係る四半期包括利益	84	417

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,328	15,718
減価償却費	6,391	6,898
のれん償却額	335	320
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8	△18
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12	△96
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	374	207
受取利息及び受取配当金	△172	△185
支払利息	410	351
為替差損益(△は益)	1,796	△1,131
固定資産売却損益(△は益)	△69	△500
固定資産処分損益(△は益)	9	23
子会社株式売却損益(△は益)	—	60
売上債権の増減額(△は増加)	△2,977	4,181
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,412	△919
その他の資産の増減額(△は増加)	△1,292	△14
仕入債務の増減額(△は減少)	623	△6,245
未払又は未収消費税等の増減額	701	△538
その他の負債の増減額(△は減少)	2,284	△1,256
その他	353	573
小計	24,507	17,429
利息及び配当金の受取額	145	187
利息の支払額	△403	△352
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,979	△5,999
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,270	11,265
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△902	△533
定期預金の払戻による収入	16,180	501
有価証券の売却及び償還による収入	2,021	0
固定資産の取得による支出	△7,920	△8,454
固定資産の売却による収入	684	971
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△104
投資有価証券の取得による支出	△1,007	△7
投資有価証券の売却による収入	154	265
その他	352	178
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,563	△7,183

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	9,696	7,057
短期借入金の返済による支出	△12,583	△7,875
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△219	△101
長期借入れによる収入	223	—
長期借入金の返済による支出	△584	△4,190
社債の償還による支出	△403	△812
自己株式の売却による収入	449	0
自己株式の取得による支出	△349	△0
配当金の支払額	△3,040	△3,562
非支配株主への配当金の支払額	△211	△453
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,023	△9,937
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,076	145
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	17,734	△5,710
現金及び現金同等物の期首残高	53,510	79,937
現金及び現金同等物の四半期末残高	71,244	74,227

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において連結子会社であった株式会社ジャパンタイムズの株式を全て譲渡したため、同社及び同社子会社である株式会社ジャパンタイムズエージェンシーを連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

※1 子会社株式売却損

連結子会社である株式会社ジャパンタイムズの株式を全て売却したことによるものであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

〔報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報〕

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注3)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	117,117	10,989	128,107	1,339	129,447	-	129,447
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34	-	34	72	106	△106	-
計	117,151	10,989	128,141	1,411	129,553	△106	129,447
セグメント利益又は損失(△)	17,353	1,542	18,895	34	18,929	△2,798	16,131

(注) 1. その他には、新聞及び出版事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△2,798百万円は、全社費用△2,876百万円及びセグメント間取引消去77百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

〔報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報〕

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注3)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	119,554	11,793	131,348	65	131,413	-	131,413
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26	0	26	43	69	△69	-
計	119,580	11,793	131,374	108	131,483	△69	131,413
セグメント利益又は損失(△)	16,199	1,740	17,939	25	17,965	△2,779	15,185

(注) 1. その他には、売掛債権の買取業務及び各種サービス業務の受託事業を含んでおります。なお、新聞及び出版事業を行っていた株式会社ジャパントイズの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外しております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△2,779百万円は、全社費用△2,809百万円及びセグメント間取引消去29百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。